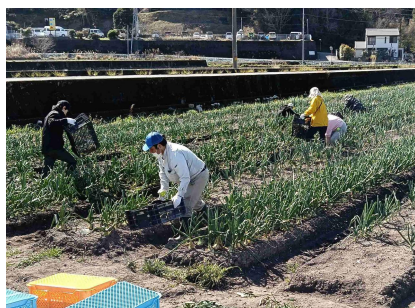


普及活動情勢報告（令和8年4月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

タマネギの極早生品種導入で労働力分散を実現 ～双日土佐農人での取り組み～



収穫作業の様子

3月10日～4月17日、農業法人「双日土佐農人株式会社」において、極早生タマネギの収穫が行われました。同法人による極早生栽培は初の試みです。

農業改良普及課は、早生・中生品種と組み合わせることで収穫期間を拡大し労働力分散を図ることを目的に、計画段階から協議し、極早生品種の導入を支援しました。栽培期間中は、安定生産に向けた排水対策や病害虫防除を重点的に指導しました。

その結果、早生品種の収穫開始前に極早生品種は全量収穫を終え、導入による労働力分散の効果が確認できました。

農業改良普及課は、今後も大規模栽培におけるタマネギの生産安定を支援します。

生産者間で意見交換してみよう！ ～香北支部ニラ栽培講習会～



説明する普及指導員

3月27日、J A高知県香美地区園芸部ニラ部会香北支部が栽培講習会を開催し、生産者14名が参加しました。

農業改良普及課は、収穫期の栽培管理のポイントやアザミウマ類の発生状況、農作業安全について説明しました。

参加者からは「昨年はアザミウマ類の被害が止まらなかったが、他の生産者は防除をどうしたのか？」「刈取り直後の防除が重要だと思う」「伸びてきてからでは農薬散布してもかかりにくい」など活発な意見交換が出ました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、ニラの安定生産を支援します。

ナスの高品質・収量増へ！ ～今作最終の現地検討会～



互いのナスの生育状況を確認する生産者

3月30日、J A高知県香我美地区にてナスの現地検討会が開催され、生産者13名が8カ所のほ場を巡回しました。

農業改良普及課は、試験中の側枝の摘心方法別の収量や、収穫までに要する週数の経過について報告しました。また、4月中旬から急増している黒枯病やすすかび病、今後増加が見込まれるコナジラミ類等の適期防除を呼びかけました。

参加者からは「気温が高くなった時期の摘心方法、下位節の側枝の取扱いはどうしたらよいのか」といった質問などが出され、生産者同士で受け答えする場面も見られました。

農業改良普及課は、今回の知見や現場の声を活かし、高品質・高収量の実現に向けた支援を今後も継続していきます。

黒枯病リスクが高まっています！ ～香美地区ピーマン部会講習会～



目慣らし会の様子

4月9日、JA高知県香美地区ピーマン部会は目慣らし会と講習会を開催し、生産者10名が参加しました。

農業改良普及課は、SAWACHIで確認できる黒枯病予測画面の活用と、今後の対策について説明しました。

生産者からは「リスクの高いほ場とそうでないほ場の違いは何か」等の質問があり、除湿による対策を行っている農家に対して詳しい管理方法を尋ねる様子もみられました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、ピーマンの安定生産を支援します。

経営が安定できるよう支援しています！ ～新規就農者巡回指導～



経営計画の達成状況を説明する普及指導員

4月15日、JA高知県香美地区ピーマン部会の新規就農者2名に対して、栽培管理及び経営指導を行いました。

農業改良普及課は、新規就農者とともに作成した経営計画の目標出荷量に対して、各月ごとに出荷量や販売高がどれくらい達成できたか新規就農者とともに確認をしています。

新規就農者からは、今後の管理やかかる経費などについて質問がありました。

農業改良普及課は、栽培担当と経営担当で定期的に巡回指導を行っており、今後も継続して支援していきます。

天敵を活用したミカンハダニ対策 ～JA高知県香美地区果樹部温室みかん部会～



現地研修会の様子

4月16、23、24日、JA高知県香美地区果樹部温室みかん部会が支部毎に現地研修会を開催し、23名が参加しました。

農業改良普及課は、ミカンハダニ対策として天敵活用方法を紹介し、天敵使用の優良事例や天敵利用時に使用可能な薬剤等を周知しました。

新たに天敵利用を検討している参加者からは「ミカンハダニに農薬が効かない」「天敵の利用を検討しているが、使える薬剤が減るのが心配」といった意見がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携してハウスミカンの高品質・安定生産を支援します。